

行政視察等報告書

令和元年12月2日

米子市議会議長様

会派名 蒼生会
代表者氏名 尾沢三夫
提出者氏名 奥岩浩基



下記のとおり報告します。

記

項目	<input checked="" type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	岩崎康朗、奥岩浩基、尾沢三夫、田村謙介 （中海架橋早期実現する安来・米子議員連盟）
期日	令和元年11月20日から令和元年11月21日まで
〔概要〕（年月日・場所・内容） 11月20日 山口県庁 漁業調整委員会室（山口県山口市滝町1-1） 「角島大橋橋梁整備事業について」 11月21日 角島大橋（山口県下関市） 「角島大橋橋梁整備事業について」現地調査	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 124,360円

中海架橋早期実現する安来・米子議員連盟 視察報告

1. 視察日時 令和元年11月20日 午後2時より午後3時30分まで
11月21日 午前10時より午前10時30分まで
2. 視察場所 山口県庁10階 漁業調整委員会室（説明と質疑応答）
角島大橋（現地視察）
3. 視察項目 「角島大橋橋梁整備事業について」

4. 角島大橋建設の経緯

面積3.8k㎡、人口約800人の角島では医療・教育・消防を本土へ頼らなければならず、角島大橋は昭和30年の町村合併の際より、長年「夢の架け橋」として実現が望まれていた。その後、昭和44年には初の角島架橋請願書が提出され、長年の要望活動の末、平成3年には市町村道補助事業として採択、平成5年起工、平成12年に開通した。工事の際には海域への影響を最小限に抑える為、また冬季風浪等が激しい環境であることなどからプレキャスト工法を多く採用した。

5. 角島大橋の概要

豊北町道特牛角島線過疎地域市町村道代行事業として整備

- ・路線名 一般県道角島神田線
- ・架橋箇所 山口県下関市豊北町大字神田から同町大字角島
- ・事業期間 平成3年度から平成12年度
- ・橋梁建設費 約132億円
- ・橋長 1780m
- ・有効幅員 6.5m
- ・道路規格 第3種第4級
- ・特徴 国内最長の一般道路離島架橋、平成15年度土木学会「デザイン賞」受賞
- ・維持管理 長寿命化修繕計画を元に予防保全型の維持管理を行い、点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを構築し、点検結果に基づく長寿命化修繕計画の策定・見直しを行いトータルコストの平準化や縮減を図っている。

6. 主な質問とその回答

Q:建設当初の費用便益比 (B/C) の数値と事業による効果について

A:当時は費用便益比の考え方が主流ではなく計算していなかったが、交通量・移動時間については計算した。

Q:工費の内訳の負担割合について (国、県、他)

A:約 99 億円が国県補助 (うち県約 50 億円)

Q:架橋工事にあたり他の工法は検討されたか

A:デザイン・環境面より桁間が違うこともあり、強度や維持管理費も含め工法を検討した。

Q:住民の思いや架橋建設機運の醸成について

A:陳情は頻繁に行い、また昭和 60 年には「年賀状作戦」も行った

Q:当初想定した以外の効果について、また今後のブランド戦略について

A:島の生活道路であり離島振興を第 1 に考えていた。しかしながら、副産物的に観光面にもメリットがあり、周辺観光の活性化や橋を利用したマラソン大会などが開催されるなどがある。一方で、大型連休の際は近隣からの島への出入りの車が多く渋滞が問題となり課題も出てきている。

Q:渡船事業所への対応について

A:当時、町営で渡船事業を行っていたので、橋の開通後はバス事業へ転換した。また使用していた船は海外へ中古販売が出来、今も現役で利用されていると伺っている。

等

7. 所感・考察

中海架橋の建設実現については平成 6 年に鳥取・島根県で組織する中海架橋建設連絡協議会の設置後、活動は休眠状態である。しかしながら、近年は安来・米子の経済団体等地元から再び中海架橋建設実現へ向けての機運が高まっている。従来から問題となっている鳥取島根県境の国道 9 号線の渋滞は山陰道開通後も引き続き問題となっており、また渋滞緩和のみならず中海宍道湖圏域における経済に与える効果は高くなると予想されている。角島大橋では生活道路としての夢の橋の実現へ向け

て建設機運の高まりから完成までは30年以上の年月をかけていた。また、副産物の形で角島及び近隣の観光にも影響を与えていた。昨今、想定外の災害が頻繁に起こる中、米子市においても複数の避難経路の確保は課題である。中海架橋が実現した場合、生活・経済・避難経路の面から米子市のみならず近隣自治体へ与える影響もメリットは大きい。今回の視察では前述の事項以外にも中海架橋を考えた場合の実際の建設の際の工法・予算、そして橋がかかった後の維持管理の面でも大いに参考になった。

行政視察行程

尾沢三夫、岩崎康朗、奥岩浩基、田村謙介
 中海架橋早期実現する安来・米子議員連盟 13名（島根県安来市議会議員6名 鳥取県米子市議会議員7名）

月 日	行 程	宿 泊 先
11/20 (水)	<p>7:30 米子市役所 7:50 安来市役所前 13:00 ごろ 山口県庁 ※バス借り上げ 【高速道路】松江・尾道道、中国自動車道</p> <p>山口県行政視察 午後2時00分から午後3時30分まで ※会場：山口県庁10階 漁業調整委員会室 【調査項目】角島大橋橋梁整備事業について</p> <p>15:40 山口県庁 17:00 宿泊先 【高速道路】中国自動車道</p>	<p>ドーミーイン プレミアム下関 ☎083-223-5489</p>
11/21 (木)	<p>8:30 宿泊先 9:40 ごろ 角島大橋</p> <p>山口県行政視察 午前10時00分から午前11時30分まで ※集合場所：別添「位置図」参照 【調査項目】角島大橋橋梁整備事業について（現地視察）</p> <p>14:00 角島大橋 19:00 安来市役所前 19:20 米子市役所前 【高速道路】中国自動車道、松江・尾道道</p>	

旅費計算表

蒼生会 会派行政視察
山口県 (角島大橋)

令和元年11月20日 ~ 令和元年11月21日 (1泊2日)

月日	区間	鉄道路線名	区間キロ数	目的地までのキロ数	運賃	グリーン	急行料	料金	宿泊		料
									日	当	
11/20 (水)	米子市役所 ~ 安来市役所 ~ 山口県庁	借り上げバス						議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 乙 13,300円	10,900円	9,800円
	山口県庁 ~ 下関市内							1,500			11,290
11/21 (木)	下関市内 ~ 角島大橋 角島大橋 ~ 安来市役所 ~ 米子市役所							1,500			
計	議員 旅行 費用 随員 旅行 費用			14,290	0	0	0	3,000	0	0	11,290

出席 議員 岩崎康朗、奥岩浩基、尾沢三夫、田村謙介

議員旅費 14,290 × 4名 = 57,160 円
バス借り上げ料 16,500 × 4名 = 66,000 円
取扱手数料 300 × 4名 = 1,200 円
旅費総額 124,360 円

※「中海架橋早期実現する安来・米子議員連盟」による行政視察・現地調査(安来市議会議員6名、米子市議会議員7名、計13名)。交通手段としてバスを借り上げ。(JR利用より安価で効率が良かったため。)

●バス借り上げ料:214,500円 ÷ 13名 × 4名(蒼生会分) = 66,000円